

第 31 回北海道クラブバレーボール連盟会長杯争奪選手権記念大会
競 技 ・ 審 判 上 の 確 認

大会競技委員長 瀬古 篤志

大会審判委員長 小瀧 健二

1. 本大会は、平成 25 年度 公益財団法人 日本バレーボール協会 6 人制・9 人制競技規則、及び競技要綱により実施します。(6 人制ルール[9.2.4 サービスのレシーブでは、指を使ったオーバーハンドの動作でダブルコンタクトやキャッチをした場合は反則となる]の適用は延期)
2. 競技日程は、プログラム記載のとおりです。競技開始時刻は、5 月 11 日深川総体会場 10 時 00 分、12 日 9 時 30 分とし、設定されたそれぞれの時刻は、ホイッスルの時間とします。
3. 競技は予選ブロック戦も含めすべて 3 セットマッチとします。ただし、5 月 11 日、予選ブロック戦の 3 セット目は 15 点とします。(2 点差がつくまで) (6 人制)
4. 各試合の記録、線審、点示は指定されたチームが担当してください。
5. 試合開始時刻に 15 分以上遅れた場合は棄権とみなします。追い込み方式をとるので、各チームは前試合の進行状況に十分注意してください。
6. 申し込み時に登録された 18 名以内の選手についての変更（登録選手の追加、番号の変更、誤りの訂正も含む）は一切認められません。監督、コーチ、マネージャーについては代表者会議において変更の届け出を受け付けます。登録された 18 名の中から試合毎に、6 人制は 14 名以内(13 名以上の場合リベロは 2 名)、9 人制は 12 名以内の選手をエントリーし、当該試合の 1 試合前の 1 セット終了時までには、メンバー表を競技役員に提出してください。第 1 試合については、競技開始予定時刻 30 分前までに提出し、試合が連続する場合は、試合終了後直ちに提出してください。なお、出場資格については十分留意願います。
7. チーム構成は、監督、コーチ、マネージャー各 1 名、選手は6 人制 14 名以内、9 人制 12 名以内とします。これ以外の者のベンチへの着席や公式練習への参加を禁止します。
8. 公式練習は 6 分間とします。ただし、**どちらかが相手チームとは別に要求した場合は、各 3 分行うことができる。**
9. プロトコールでのトスは、第 1 試合では競技開始時刻の 11 分前、それ以降は前試合終了後、5 分後に各コート記録席前にて行います。その後ライン・アップ・シートを速やかに当該審判員に提出してください。
10. 監督、コーチ、マネージャーは、試合中、それぞれの役員マークを左胸部につけてください。つけていない場合にはベンチ入りを禁止します。

11. コートが濡れた場合のワイピングは、コート内の選手がタオルで速やかに行ってください。
タイムアウト及びセット間には、ベンチの競技参加者がモップで拭いてください。
12. 隣接するコートで試合中の場合は、空きコートでネットを使っての練習を禁止します。
13. 試合が連続する場合は、20分を限度として休息を設けます。
14. ユニフォームにつけられるナンバーは原則として6人制では1番から18番とします。やむを得ない場合は19番から99番を使用することを認めます。6人制では、胸部のナンバーの高さは最小限15cmとなっているが、この大会に限り従来のものも着用を認めます。
15. 試合中は、ゲームキャプテンのみが審判員に競技規則の適用や解釈について質問をすることができます。
16. 監督は試合中、チームベンチの記録席に最も近い位置に着席してください。一時的にベンチを離れてもよいですが、ラリー中はベンチに着席してください。
17. リベロについて（6人制）
 - 1) チームは、リベロを2名エントリーすることができます。リベロは、チームキャプテンおよびゲームキャプテンになることはできません。
 - 2) リベロを採用するチームは、各試合のメンバー表のリベロ欄にプレーヤーの番号と名前を記入し提出してください。それ以後の申し出については認めませんので注意してください。また、第1セットのライン・アップ・シートにもリベロのナンバーを記入してください。
 - 3) ひとつのラリー間で一組のみ通常プレーヤーとリベロの交代が可能です。
 - 4) リベロは、他の競技者と対照的で異なる色のユニフォームを着用してください。この大会に限り、『L』の文字のついたベストの着用も認めます。（リベロが2名の場合は異なる色のベストを着用してください。ベストは各チームで用意してください）。
18. 不当な要求は、競技に影響を及ぼさず試合の遅延とならなければ制裁されることなく拒否され、同一試合内で繰り返された場合には遅延として罰せられます。
19. 試合中の遅延の制裁は、試合を通して有効です。
20. **チームメンバーによる軽度の不法な行為は、2段階で処置される。**
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。
繰り返された場合、その競技者は反則（レッドカード）の制裁を受け、相手チームにサービス権と1点が与えられます。
21. 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分留意してください。
22. 各会場の使用上の注意事項を遵守してください。なお、競技中のガムは禁止します。